

2020年度英米文学英語学専修 卒業論文題目一覧

- 文 17-0011 秋 田 早 紀 『不思議の国のアリス』—おかしなお茶会—翻訳と分析
- 文 17-0017 芦 田 萌 絵 お金のメタファー—抽象的な言説を可能にする—
- 文 17-0062 伊 藤 千 明 **English in Croatia and Japan**
- 文 17-0064 伊 藤 麻 友 自己開示の日英比較
- 文 17-0065 稲 井 さくら 『メイジーの瞳』における人物分析—非力な子ども、変化する大人との関係性、家族のモチーフ—
- 文 17-0081 茨 木 佑 果 *The Family Man* (2000) における主人公の生まれ変わりについて—段階的な変化、登場人物の役割、変化を示すモチーフ—
- 文 17-0082 今 井 太 翼 オスカー・ワイルドが生きる 21 世紀とは？
- 文 17-0090 岩 井 彩 夏 『高慢と偏見』における結婚観
- 文 17-0118 梅 原 美 咲 『レディ・バード』における少女の変化—揺らぐアイデンティティを中心に—
- 文 17-0130 扇 谷 真 奈 「アメリカ人女性」の表象について—1996 年と 2020 年を比較して—
- 文 17-0143 大 西 万 梨 奈 **Language Transfer and Intelligibility of Japanese English Pronunciation**
- 文 17-0145 大 橋 彩 夏 英語の多様性とカナダ英語
- 文 17-0152 岡 野 莉 果 丁寧表現の日英比較
- 文 17-0156 小 川 雅 央 『アルジャーノンに花束を』について—知性を求めた先にたどり着いたこと—
- 文 17-0178 斧 佑 香 ピクサー映画における擬人化—人間のようなキャラクターと表現—
- 文 17-0181 織 田 菜 月 『赤毛のアン』—登場人物の成長—
- 文 17-0215 神 谷 侑 希 動機構文の受動態における容認不可能性について
- 文 17-0216 亀 山 美 緒 **A study of Japanese attitudes toward Japanese English and Implications for teaching pronunciation in Japanese English education**
- 文 17-0232 川 戸 佑 香 愛情表現の日英語比較—映画・ドラマを使って—
- 文 17-0235 川 原 大 雅 **Motivational factors of Japanese learners of English and effective guidance for students in the classroom**
- 文 17-0238 川 辺 万 穂 『雨の日は会えない、晴れた日は君を想う』における人物の変化—ディヴィスの心の変化とカレンの自立—
- 文 17-0250 岸 本 真 依 『チョコレート工場の秘密』論—原作と映画の比較
- 文 17-0280 木 村 理 沙 *Charlie and the Chocolate Factory* の 3 訳比較
- 文 17-0282 京 寛 隆一郎 『アンドロイドは電気羊の夢を見るか』論—映画版『ブレード・ランナー』との比較とともに—
- 文 17-0290 久 保 舞 佳 感情メタファー—怒りと嫉妬の用法について—
- 文 17-0301 河 野 惇 哉 **way** 構文の諸相
- 文 17-0309 小 原 久 依 アメリカにおけるコーヒーチェーンの戦略とメタファー
- 文 17-0330 阪 上 友 里 『ジェイン・エア』と『ヴィレット』の比較分析—語り手の相違とフェミニズム—

- 文 17-0343 佐々木 萌 乃 *Shutter Island* の二重構造における技法の分析——構造化された伏線とモチーフが示す二重の物語——
- 文 17-0378 下 浦 修 平 *The Great Gatsby* における登場人物の変化—原作と2つの映画化作品—
- 文 17-0383 宿 南 知 里 *Never Let Me Go* におけるクローンたちの行動——なぜクローンたちは臓器提供の運命から抗おうとしないのか——
- 文 17-0390 新 熊 那奈子 *The Shape of Water* における人物分析——人物たちの変化とモチーフ、それによって表されるテーマ——
- 文 17-0409 関 口 詩 乃 落ち込む場面の日米比較
- 文 17-0422 高 橋 洵 平 『ベーオルフ』創作時における歴史背景—ベーオルフという名の主役という存在—
- 文 17-0426 高 橋 里 沙 自己開示の度合いの日英比較
- 文 17-0457 田 中 陽 菜 Critical Period Hypothesis and Age Issues in Second Language Acquisition
- 文 17-0472 幸 比 菜 フェミニズム思想で読み解く『塔の上のラプンツェル』
- 文 17-0474 辻 真奈穂 『キャロル』における人物分析——テレーズの成長、脇役の役割、赤の効果——
- 文 17-0485 手 島 可 菜 *The Curious Case of Benjamin Button* にみる主人公の成長——登場人物の役割とモチーフの効果——
- 文 17-0508 内 藤 光 咲 広告のメタファー—ビールの広告に注目して—
- 文 17-0513 中 井 麻 友 『若草物語』——四姉妹の成長——
- 文 17-0514 中 井 理 紗 結婚のメタファー—メタファーから見る結婚観—
- 文 17-0518 中 川 雄 太 『ロミオとジュリエット』—時代に逆境した恋愛—
- 文 17-0520 中 木 かおり 『レナードの朝』における人物分析——レナードとセイヤーの変化、反復するモチーフ——
- 文 17-0525 中 島 青 生 海外のお菓子売上げとネーミングとの相関—アメリカ合衆国におけるお菓子ネーミングがもたらす販売効果—
- 文 17-0541 中 村 哲 也 Three Types of the causative of *walk*
- 文 17-0544 中 山 雄 大 断り表現における日英比較
- 文 17-0546 長 岡 一 輝 Comparing the Concept of Time in Japan to in North America Polychronic vs. Monochronic
- 文 17-0548 永 田 浩 基 字幕翻訳の処理におけるユーモアの分析—アメリカのドラマの字幕におけるユーモアの処理パターン—
- 文 17-0554 名 畑 一 生 メタファー同定とディーブラーニング
- 文 17-0568 西 口 千 里 ドラマ *Friends* に観る恋愛の人間関係のメタファー
- 文 17-0575 西 埜 嘉 樹 Effectiveness and Necessity of English Immersion Education in Japan
- 文 17-0592 野 澤 八 宏 映画『サウダーハウス・ルール』の人物分析——主人公ホーマーの成長、独自のルール、外界へいざなう人物——
- 文 17-0604 浜 崎 日 菜 子 *gossip girl* から読み取るメタファー

- 文 17-0605 濱 田 彩 夏 クリスティーナ・ロセッティの四季観
- 文 17-0643 福 岡 里 恵 Japanese Awareness of Politeness in English
- 文 17-0653 藤 田 香 帆 Translation and Analysis of ‘The Happy Prince’
- 文 17-0655 藤 田 理 沙 効果的な注意の促し方の日英比較
- 文 17-0665 舟 尾 玲 音 『ウインド・リバー』における人物分析——傷を抱えたハンター、女性の役割、死者の描かれ方——
- 文 17-0666 古 川 詩 菜 Attitudes toward Welsh English in the United Kingdom
- 文 17-0677 前 川 千 穂 Differences in nonverbal behaviors between Japanese and Americans ~How does culture affect nonverbal behaviors?~
- 文 17-0679 前 田 幹 太 『人間の絆』における束縛からの解放
- 文 17-0684 松 井 彩 夏 *cat* のことわざ—猫のイメージを考える—
- 文 17-0698 松 林 潮 直訳と翻訳の違い
- 文 17-0730 道 場 菜 月 『チャーリーとチョコレート工場』における翻訳と分析
- 文 17-0732 三 廻 可南子 インスタントラーメンのネーミング—ネーミングと売上の関係—
- 文 17-0734 三 戸 優 輝 英語中間構文について
- 文 17-0741 宮 澤 菜 21 世紀の読者 ウィリアム・ブレイクの魅惑—『無垢と経験の歌』『ロセッティ稿本』再読—
- 文 17-0742 宮 末 治 弥 *Who Moved My Cheese?* By Dr. Spencer Johnson の日本語訳「チーズはどこに消えた? 門田美鈴 訳」と拙訳との比較分析について
- 文 17-0759 森 岡 光 代 映画ポスターの日英比較
- 文 17-0760 森 定 南 帆 『Howl’s Moving Castle』 Diana Wynne Jones の日本語訳『ハウルの動く城 1 魔法使いハウルと火の悪魔』西村醇子訳と拙訳と比較分析について
- 文 17-0769 森 本 結 衣 ヘミングウェイ短編小説の分析
- 文 17-0773 安 田 健 翔 英語における結果構文の諸特性について
- 文 17-0780 山 内 恒 輝 動詞的受身と形容詞的受身
- 文 17-0803 山 田 雪 深 慰め方の日英比較
- 文 17-0824 吉 田 絵 美 英語の多義について—*pit* の意味から考える—
- 文 17-0827 吉 田 菜 緒 Language Transfer in Foreign Language Learning : Thai Speakers Learning English and Japanese as L2 and L3
- 文 17-0836 渡 邊 菜 月 「英語の授業は英語で教える」に対する学生の意識調査
- 文 16-0581 長谷川 黛 『マチルダは小さな大天才』——大人と子どもの戦い——
- 文 16-0592 羽根田 果 奈 『秘密の花園』——登場人物の出会いと成長——
- 文 16-0719 宮 原 知 子 視点がもたらす効果と主要テーマに与える影響
- 文 16-0757 山 川 華 澄 『雨の日は会えない、晴れた日は君を想う』における人物分析——主要人物の役割とデイヴィスの成長——

## 2019年 英米文学英語学会会計報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,221,392 円	「英米文学英語学論集」第8号印刷代	185,760 円
特別会費	100,000 円	郵送料	816 円
学生会費	267,000 円	文具	498 円
		人件費	20,000 円
		雑費（振込料など）	432 円
利息	17 円	次期繰越金	2,380,903 円
合 計	2,588,409 円		2,588,409 円

2019年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

### 執筆者紹介

秋 元 秀 紀 (本学教授)	高 橋 美 帆 (本学教授)
Richard Donovan (本学教授)	野 口 メアリー (本学教授)
干 井 洋 一 (本学教授)	Peter Joun (本学大学院 後期課程)
Irina Novoselova (本学大学院 後期課程)	

### 査読編集委員会

秋 元 秀 紀 (本学教授)	Fred E. Anderson (本学教授)	高 橋 美 帆 (本学教授)
谷 口 義 朗 (本学教授)	Richard Donovan (本学教授)	*鍋 島 弘治朗 (本学教授)
野 口 メアリー (本学教授)	干 井 洋 一 (本学教授)	

\*編集代表

### 【編 集 後 記】

英文学論集から英米文学英語学論集に名称が変更になってから10周年を迎えた。その間に、学生優秀論文のフォーラムとの統合、出版社の変更などいろいろなことがあった。今回は、谷口先生、野口先生の退職記念号ともなり、6名の方に執筆をしていただき、盛況となった。

## 『英米文学英語学論集』投稿規定

- 1 投稿資格  
本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。
- 2 投稿論文及び翻訳  
投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。  
翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。
- 3 投稿の採否  
投稿原稿の採否は、査読編集委員会あるいは同委員会が委嘱する査読者の評価に基づいて、査読編集委員会が決定する。
- 4 書式上の注意
  - i 注は本文の末尾にまとめる。
  - ii 注のナンバ―は肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
  - iii その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
    - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)
    - ② 『MLA英語論文の手引』（第5版）（北星堂）
    - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
    - ④ *The Chicago Manual of style* (Fifteenth Edition)
    - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
    - ⑥ *APA (American Psychological Association) Style*
  - iv 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。
- 5 原稿締め切り  
原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月までに刊行するものとする。
- 6 電子化による公開  
投稿した論文等が本論集に掲載された場合、投稿者はその論文等が関西大学学術レポジトリに登録されることを許諾したものとす。ただし投稿者本人の事前の申し出により登録を辞退することができ。 (投稿規定改正 二〇一五年二月)

## 関西大学英米文学英語学会会則

### 第一条

本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合人文科英米文学英語学専修合同研究室に置く。

### 第二条

本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

### 第三条

一、機関誌『英米文学英語学論集』の刊行。

### 第四条

二、その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。本会は次の者をもって会員とする。

一、本学文学部総合人文科英米文学英語学専修の専任教員。

二、本学文学部総合人文科英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科英米文学英語学専修の学生。

三、右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。

四、本学文学部英文学科（旧）の在職経験者中に入会希望者。

### 第五条

五、本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。本会に次の役員をおく。

一、会長 会長（一名）は評議員の互選によりこれを選出する。

二、副会長 副会長（一名）は会長が指名するものとする。

三、評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。

四、委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・会計監査及び広報を分担する。

役員の任期は二年とし、再任を妨げない。

会費は第四条第一項に該当する者は年会費一万円を納入する。第四条第二項に該当する者は千円を納入する。その他は年会費三千円を納入する。

### 第六条

会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができる。この会則の変更は評議員の議決による。

### 第七条

（会則改正 二〇一八年二月十四日）